事務事業評価表

■Plan (計画)

A.事務事業の名称 スズメ蜂等駆除対策		1.事務事業整理シート番号	1	
		2.作成年月日	平成26年10月9日	
		3.主管課・係名	まち整備環境課・生活環境係	
B.予算事業名 (事業別予算名を記入する。)	環境衛生事業		4.評価年度	平成25年度
	7.予算科目	款 4 項 1 目 4	5.開始年度	平成18年度
			6.終了年度	未定

C.事業区分	8.事務の種別	☐ 自治事務(義務) ☒ 自治事務(任意) ☐ 法定受託事務
	9.補・単の種別	☐ 補助事業 ☐ 国庫 ☐ 県費 ☒ 単独事業
	10.根拠条例等	上里町事務分掌規則

D.総合振興計画 (第4次総合計画から記入する。)	11.政策目標	3 安全で快適に暮らせるまち
	12.政策	3 環境保全対策の推進 (3)公害防止・環境美化
	13.施策目標・数値目標がある場合はそれを記入	
	14.主要施策名	1 公害防止対策の推進
	15.事業群	5 その他公害防止対策の推進

■Do (実施)

E.事務事業の概要 (当該事務事業の目的・対象・手段を記入する。)	16.事業の目的 (何を目的として事業を行うのか。)	「スズメ蜂の巣」を発見した際、町民からの要請により、危険防止の為「スズメ蜂の巣」を駆除する。
	17.事業の対象 (誰を何を対象としているのか)	個人所有の民地における「スズメ蜂の巣」の駆除(法人は除く)
	18.事業の手段 (どんなやり方で事業を行ったのか)	現地に職員が出向き、「スズメ蜂の巣」を確認後、薬剤にて直接駆除

F.費用の概要 (事務事業に投入したコストを記入する。)	区 分	単位	平成24年度決算	平成25年度決算	構成比 %	平成26年度予算	
	19.事業費	千円					
	20.人件費 (単価*人工)	千円					
	a 正職員	千円					
	b 臨時職員	千円					
	21.総事業費(18+19)	千円					
	22.財源内訳	a 受益者負担	千円				
		b 国・県支出金	千円				
		c その他特定財源	千円				
		d 一般財源	千円				
	23.利用者数・対象者数	人					
24.利用者(住民)1人当り経費(20/22)	円						
25.受益者負担水準(21a/20)	%						

G.指標 (事業の活動や成果を数値等で記入する。)	区 分	平成24年度	平成25年度	達成率%	平成26年度	
	26.活動指標名 利用者、来場者の人	目標		目標		目標
		実績		実績		
	27.成果指数名	目標		目標		目標
		実績		実績		
28.活動結果・成果 (両指標に関連して目的・目標にどれだけ近づいたか、効果はあったか)						

■Check (評価)

H.第1次評価 (担当部門による自己評価を記入する。)	個別評価	評価観点	評価	評価[(高)3・2・1(低)の3段階]	
	H.第1次評価 (担当部門による自己評価を記入する。)	29.妥当性 (目的や町の関与の妥当性、住民ニーズへの対応などの観点)	社会経済環境の変化の中で、事業の必要性は今でも変わらないのか	}	3
事業に対する住民ニーズにどのような変化があるのか			3		一定のニーズがある
国・県・民間など役割分担から町が実施することが妥当なのか			3		業者委託で継続すべき
30.有効性 (事業効果や施策への貢献度、成果の向上度などの観点)		事業の成果が、上位施策の実現につながっているか	}	3	実績からつながっているといえる
		事業目標に向かって、成果への進捗状況は適正なのか		2	概ね適正である
		活動内容が進捗状況と併せて有効な手段となっているのか		2	概ね適正である
31.効率性 (費用対効果や手段の最適性や受益者負担の適正化などの観点)		最小のコストで効率的に事業が行われているか	}	2	効率性は保たれている
		コストをはじめ事業内容などに改善の余地はないか		1	社会情勢変化により改善を進める
		受益者負担は、社会情勢などに照らして適切なのか		1	近隣等の状況をみて改善する
32.総合評価 (上記の評価結果をもとに、目標と成果について、総合的に評価する。28, 29, 30の合計点により、自動的にチェックされます)		評価		評価定義(個別評価結果をもとに目標と成果を評価する。)	
	●	期待した以上の効果や成果が上がっている。	(評価 25~27点)		
		概ね期待していた効果・成果が上がっている。	(評価 18~24点)		
		期待している効果や成果までは到達していない。	(評価 10~17点)		
		これ以上の効果・成果や目的達成は期待できない。	(評価 9点)		

■Action (改善)

I.課題・予測 (実施上の課題・問題点や今後の社会環境やニーズの予測を記入する。)	<p>駆除指定されている外乗種と違い、「放置すると危険なため」という理由で、民地内の駆除を行政が対応すべき事業であるか、検討する必要がある。</p> <p>近年の民間駆除業者の発達等も鑑みたく、公共性に照らして必ずしも行政が全負担をして行う必要があるのか検証する必要がある。</p>
--	---

J.今後の展望 (評価結果により改善策について記入する。)	事業改革案	33.事業の展開	☐ 重点化(資源・コストの集中) ☒ 改善(関与・手続など見直し) ☐ 効率化(コストの削減) ☐ 統廃合(事業統合又は廃止) ☐ 簡素化(メニューなどを縮小) ☐ 現行(概ね現事業を踏襲)
		34.概要 (何を、何時までに、どのように)	<p>埼玉県内において、「スズメ蜂の巣」を職員が直接駆除しているのは、上里町を含め一部の自治体である。</p> <p>今後は、県内の他市町の動向も視野に入れて、平成27年度からの取組み手法(例えば、業者委託、補助金制度導入による業者紹介、防護服貸出、有料化等)を検討していきたい。</p>
		35.期待される効果 (改革の実施によりどんな効果をえられるか)	<p>行政業務が適正化するとともに、専門的業者による適切な駆除なども行うことができる。</p>
		36.実施への留意点 (推進上、配慮や注意が必要なことは)	<p>民地内で生じた問題はスズメ蜂の巣の駆除も含めて、本来は土地所有者・建物所有者が行うべきことである。駆除の際、庭木の伐採、殺虫剤の散布、住宅の変色等のトラブルの発生も想定される。業者委託の場合は、私有地の了解も必要であるし、作業中において器物破損などの問題が生じた場合の対処方法として契約書も締結している状況である。</p> <p>民地内の管理について行政が行う必要性及び根拠なども不明確であり、行政が行うべき業務なのか、見直しが必要と考える。</p>

J-1.所属長所見 (評価・今後の展望などに対する所見を記入する。)	<p>地域の実情を鑑みたく、公共性に照らして町の全負担で行う必要があるのか検証する必要がある、特殊業務のため事業の実施体制を再考する必要がある。</p> <p>周辺自治体の事例などを参考にした上で、例えば、住民負担等も含めた補助制度(業務委託)の実施や、事業そのものの廃止も含め、再検討すべきである。</p>
---------------------------------------	--

※ 各課(局)等での記入は、J欄で終了です。

※ K欄の記入は、評価委員会の記入となります。

K.第2次評価 (内部評価委員会による評価を記入する。)	37.総合評価	☐ 創意工夫が必要 【 ☐ 充実 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 終了】 ☐ このままでよい
	38.予算要求	☐ 同額 ☒ 増額 ☐ 減額 ☐ 終了
	39.人員配置	☒ 現状 ☐ 増員 ☐ 減員
	40.評価理由 (36,37,38での評価結果について主な理由を記入する。)	<p>個人所有の民地内の業務であること及び作業の危険性から鑑みると専門的知識も必要である。このような特殊業務のため現在の体制での継続は難しい。</p> <p>利用者(土地所有者等)の負担も視野に入れ、委託事業若しくは補助事業とするのが適当である。</p>